

第3回 SNS カウンセリングシンポジウム in 関西のご報告

2019年1月26日（土）、公益財団法人関西カウンセリングセンター研修室（大阪府北区）にて、一般財団法人全国SNSカウンセリング協議会主催の「SNS カウンセリングシンポジウム」を開催いたしました。

3回目のシンポジウムとなります今回は、はじめての大阪での開催となりました。本件をご支援・ご賛同いただいております国会議員、市議会議員、教育委員会など自治体関係者だけでなく、既にカウンセリングを実施されている団体様にも多くお運びいただき、100名を超すご来場のみなさまで会場は熱気に包まれました。



冒頭では、関西カウセリングセンター理事長であり当協議会専務理事でもある古今堂より本シンポジウムの趣旨をご説明させていただきました。次に当協議会三川代表理事事務総長より開会の挨拶として「多数のメディアに取り上げていただいた結果、30以上の自治体様が導入を検討・実施してくれている。また各方面のご尽力により多大な予算もお預かりし、協議会としても1人でも多くの子どもを救うために大切にしたい」とお伝えいたしました。

また大変ご多忙の中、来賓として3名の議員のみなさまにご来場、ご挨拶を賜りました。

浮島 とも子 衆議院議員（文部科学副大臣 兼 内閣府副大臣
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）
鰐淵 洋子 衆議院議員（公明党 文部科学部会長）
杉 ひさたけ 参議院議員（公明党 参議院政策審議副会長）



SNS カウンセリングの今後について、子どもが信頼できる相談窓口の充実や、そのための予算の獲得、また実証実験の必要性などをご説明いただきました。

続いて、大阪市教育委員会事務局指導部代表者より、大阪市の現状をご報告いただきました。小学生のスマートフォン所持率が53%、中学生79%、高校生93%と非常に高く、SNS窓口による相談実施の結果、既存の電話やFAXによる窓口では相談できなかった児童生徒による問合せが多くあったこと、また相談内容を学校に引き継ぐことができたことなど成果がある一方、これからの課題についても共有いただきました。



次に、「SNS カウンセリングの普及に向けて」と題しまして、以下のパネリストによるディスカッションにて、実際のカウンセリング現場の現状や活動内容について、また、今後の取り組みとしてマニュアル化や満足度の分析、カンファレンスの定時開催などについてご紹介いただきました。

- | | |
|--------|--|
| 松木 秀彰 | (文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導室長) |
| 村井 宗明 | (LINE 株式会社 公共政策副室長) |
| 森 紗介 | (トランスコスモス株式会社 DCC 統括サービス戦略本部
サービス企画部 オペレーション企画課長) |
| 浮世 満理子 | (全国 SNS カウンセリング協議会 常務理事) |
| 高間 量子 | (公益財団法人 関西カウンセリングセンター SNS 相談事業統括主事) |

最後に、江口代表理事理事長より「いじめは予防が大切。だれどこぼれ落ちた子どもを助けるためにこの活動をはじめた。また起きた事象を検証し続けて経験値を上げることが、協議会参加企業としての役割である」との挨拶をさせていただき、終了となりました。

今後、当協議会では「SNS カウンセラー認定登録制度」を設置し、質の高いカウンセラーの育成と安心・安全なカウンセリングの提供、また SNS カウンセリング普及促進のための基準提示などを制度化する予定でございます。詳細につきましては3月頃、公式サイトにて開示・募集を行います。引き続き、当協議会におきましてご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。